# J.S.バッハ：無伴奏バイオリンのためのソナタ第1番 ト短調 BWV 1001 より 第１楽章 Adagio（1720年／ケーテン）

- 言語情報に特化したビデオ会議ツールは、声質・響き・息づかい・発音のリズムや緊張感などの重要な情報が削ぎ落とされる
- IT時代以降、情報の貧弱化、価値ある情報を汲み取る能力の劣化が進んでいる
- AI時代、ある時点の認識によって世界を完結させない倫理が必要

＝倫理から導かれる行為が世界に影響を与え、
更新され続けることを自律的に引き受ける必要がある

東大先端研 Research Center for Advanced Science and Technology The University of Tokyo
ADVANCED ART DESIGN

ⓒ 近藤薫 Kondo Kaoru UTokyo RCAST AAD ArtLab. 2026

# J.S.バッハ：無伴奏バイオリンのためのソナタ第1番 ト短調 BWV 1001 より 第１楽章 Adagio（1720年／ケーテン）

- 当時の最新かつ極限の演奏技術・作曲技術を駆使（1747年 音楽学協会入会）
- しかし、文化や時代を超えた、深い精神性を携えている（マルティン・ルターの影響）
- バッハが生涯で残した作品は少なくとも1,177曲（2022年／ライプツィヒ・バッハ資料館）

➢理論・技術で徹底的に人間性・精神性を追求した

➢生涯にわたる実践：生きること＝作曲すること

東大先端研 Research Center for Advanced Science and Technology The University of Tokyo

ADVANCED ART DESIGN

ⓒ 近藤薫 Kondo Kaoru UTokyo RCAST AAD ArtLab. 2026

# 私にとって
# 生きること＝演奏すること

■ 常に更新し続ける動態

- ■ 演奏すること：｛弾く／聴く｝｛私が変わる／世界が変わる｝｛弾く／聴く｝∞・・・
- ■ アンサンブル：テンポ・リズムの揺らぎ、割り切れない流動的な音律、高次倍音の共有

ゾーン状態 → 深い共感 → 自然との一体感 → 幸福感、安寧の時

➢倫理から生まれる実践、実践から生まれる倫理

➢生かすこと、生かされること

東大先端研
Research Center for Advanced Science and Technology The University of Tokyo

ADVANCED ART DESIGN

ⓒ 近藤薫 Kondo Kaoru UTokyo RCAST AAD ArtLab. 2026